

【便秘症治療の基本】

- 非刺激性下剤を毎日適量内服
- 排便回数は2回/日～1回/日を目標に、便性を整えていく
- 刺激性下剤・外用薬はオンデマンド治療として使用する

監修 消化器内科 島田友香里医長
(2021.9初版作成)
中本クリニック 中本博士院長
(地域版2025.4初版作成)

参考文献：添付文書,便通異常症診療ガイドライン 2023

機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者

→ **消化器内科にコンサルト** 

※ () 内は1日薬価
(当院採用銘柄)
2026.4時点

腎機能障害、年齢確認

右記条件以外

浸透圧性下剤

eGFR < 30 または Cr > 1.5 ~ 2.0
75歳以上の高齢者

マグミット (¥50.4/2g)

高Mg血症
症状：嘔吐、徐脈、傾眠、筋力低下など

- ・高Mg血症に注意
- ・高齢者、腎機能障害患者、長期投与患者
→定期的な血中Mg測定を推奨
- ・相互作用に注意

モビコールLD (¥118.6/2包)

- ・粉末を水に溶解し服用(最大6包まで)
- ・患者に合わせ調節
- ・初回用法は1日1回(以降1日1~3回)
- ・増量は2日以上の間隔あける

地域：習慣性無く長期使用可. 高齢者小児でも使用可. カマグ使えない時の選択肢として◎

効き目が穏やか
安価
臨床での使用経験が豊富

地域：高齢者・他剤併用患者は副作用リスクや相互作用に注意

効果不十分

目安
マグミット
1.5g程度まで

下記薬剤と併用
または
下記薬剤への変更

調節しやすい
溶解後の味の好みに個人差あり
効果判定に時間を要する
特定の背景の患者がある場合は初回から選択可※保険上、他の下剤(OTCを含む)の使用歴が必要

水分分泌促進

アミティーザ 12µg
(¥186.4/4Cap)

- ・1日2回食後1回2Cap
- ・用量依存的に効果發揮
- ・一包化○ (30日間)
- ・粉碎×
- ・簡易懸濁○適1
- ※チューブフラッシュを推奨
- ※妊婦に禁忌
- ※投与初期に悪心

若い人への使用は悪心に注意
悪心のリスクがある患者は少量から開始

地域：高齢女性に多い便が硬くでないタイプに◎すっきり感あり

地域：OTCでセンナを使用している方が多い. 硬便か排出困難かを確認し適切な薬剤へ変更していく

オンデマンド治療として使用

刺激性下剤：センノシド(¥5.5~11/錠)、ピコスルファートナトリウム(¥73/本)

外用薬：グリセリン浣腸液(¥118.5~166.50/個)、新レシカルボン(¥73.70/個)

備考) ・オピオイド服用患者はスインプロイク、アミティーザを推奨
・漢方薬はエビデンスレベル低いため除外した (大黄含有製剤は頓用で使用を推奨)

水分分泌促進 + 腹痛軽減

リンゼス錠 0.25mg
(¥57.8~115.6/1~2錠)

- ・1日1回食前1回1~2錠
- ・腹痛を改善
- ・一包化、粉碎×
- ・簡易懸濁○適1
- ※下痢を避けるために投与開始時は前治療を減量するか代替え(可能な限り)
- 単剤投与へ移行)

他剤で下痢を経験した患者は避ける
下痢しやすいため食前効き過ぎの場合は減量又は休業して低用量で再開

地域：腹部症状の強い患者で◎

水分分泌促進 + 蠕動運動亢進

院外専 **グーフイス錠 5mg**
(¥154.8/2錠)

- ・1日1回食前1回2錠
- ・腸の動きが悪い場合に使用可
- ・一包化、粉碎○
- ・簡易懸濁○適1
- ※重篤な肝障害に使用不可
- ※併用注意あり (P糖タンパク質阻害作用)

肝障害時使用不可
ウルソ併用で効果減弱
胆嚢切除患者にも使用可
腹痛のある患者は避ける
便意の改善を期待できる

地域：刺激性下剤を使わず自然排便を促したい場合◎

地域：錠剤も有り. 短期使用にとどめる

地域：外用の摘便ではこちらをおすすめ